

# 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 最終報告

## 1. 基本情報

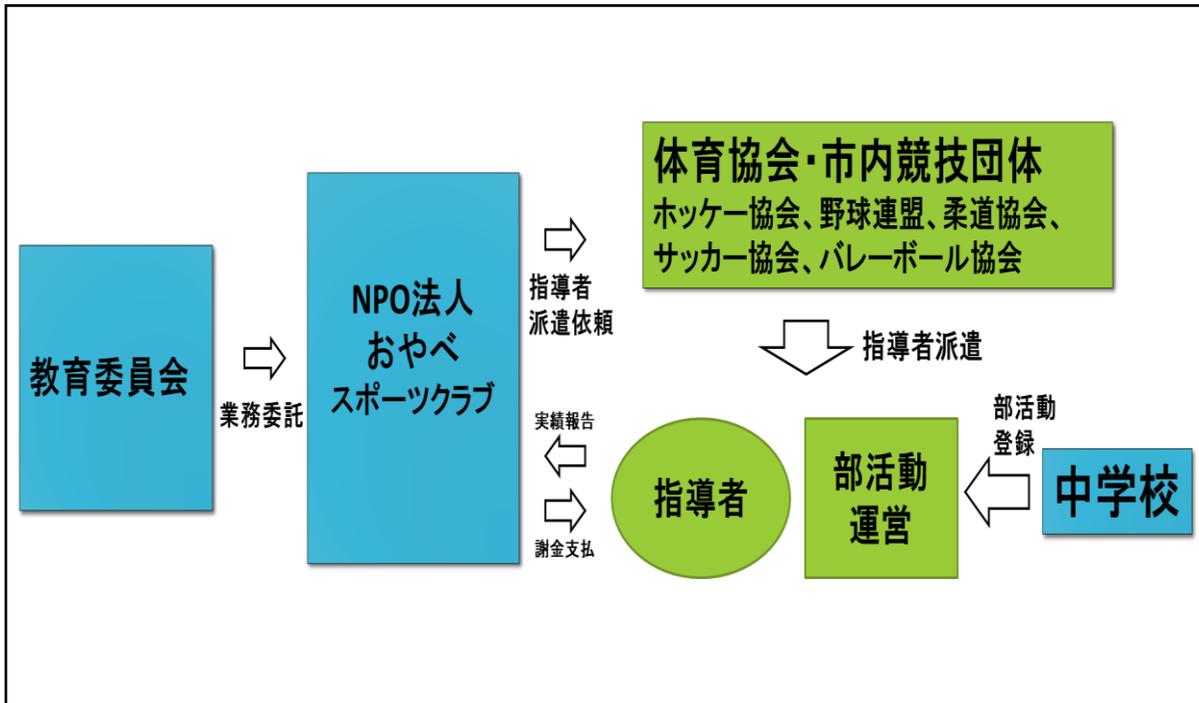
小矢部市

### 基本情報

中学校数	4校	休日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	4校	平日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	0校	協議会・検討会議等の設置状況	設置済
中学校生徒数	606人	休日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	20部活	平日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	0部活	推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済
部活動数	29部活	休日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	13クラブ	平日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	0クラブ	休日の部活動の完全移行予定年度	令和8年度

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図



#### ▼運営体制組織内での役割分担

- **教育委員会（教育総務課）**
  - ・検討委員会の事務局・開催
  - ・指導者研修会の企画・運営・報告
  - ・クラブとの連絡調整
  - ・県教育委員会との連絡調整
  - ・総合型スポーツクラブとの連絡調整 等
- **教育委員会（文化スポーツ課）**
  - ・市体育協会及び競技団体との補助的な連絡調整
  - ・他市町村の地域移行動向の把握・調査
- **市町村体育・スポーツ協会、総合型SC**
  - ・競技団体との連絡調整
  - ・指導者の派遣・謝金の支払い事務 等

## 2. 実証内容と特色

## 小矢部市

### 取組内容

- ・本市では、昨年29部活動のうち15の部活動で休日部活動の地域移行を行っている。そして、今年度は5つの部活動(女子バレーボール4部、柔道1部)が移行済みである。また、未実施の部活動においても現在地域移行を検討している団体が複数ある状況である。
- ・指導者の配置は、競技団体に常時2名の配置を依頼しており、事故発生時の対応や行き過ぎた指導の互いにけん制しあうことを期待している。
- ・指導謝金は1,200円/hで1回あたり3hまでとしている。現在は、国の委託金の中から賄っているが、今後市の財源のみで対応していくのか保護者等から受益者負担として、徴収が必要であるか収支の見通しをつけ検討していく。

### 年間の事業スケジュール

- 4月 契約、保険加入手続き
- 5月 女子バレーボール部地域移行開始
- 6月 サッカー一部地域移行(1クラブに統一)
- 7月
- 8月 野球部地域移行(1クラブに統一)
- 9月
- 10月
- 11月 柔道部1部地域移行開始
- 12月
- 1月
- 2月 最終報告、精算事務
- 3月 事業計画等

### 特色

- ・各種事務手続きを含めた広域的な活動を行うコーディネーターを、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人おやべスポーツクラブに委託し、市教育委員会、各競技団体、学校等と連絡調整を行っている。
- ・現在、休日部活動の地域移行を進めており、平日の部活動については未実施であり、財源、指導者
- ・活動場所等を考慮しながら実施可能であるか検討している。
- ・指導者については、各競技団体から推薦・任命しており、学校教諭の中から指導意欲のある方が兼職兼業の申請をし、部活動の指導から引き続き指導している方もいる。
- ・各中学校の部員数の減少に伴い、各校単独でのチーム編成ができなくなっている。そのため、市内で1クラブとする部活動が多くなってきている。基本的には、部活動の形を引き継いでいる。

# 3. 成果と課題

## 成 果

- ・市内4中学校すべての学校において休日部活動の地域移行が進んでおり、顧問教諭の休日の部活動に係る時間外勤務時間の大幅な削減が見られた。
- ・地域移行が競技団体にも浸透しており、多くの競技で地域移行に向けての話が上がってきている。
- ・部活動顧問以外に経験のある指導者を配置することでより良い指導を受けることができるようになった。
- ・各校単独では、活動できない部活動も地域移行することにより練習や大会に参加することができた。
- ・まだ地域移行に至っていない部活動についても地域移行に向けての議論が行われており、現状と課題を洗い出し、地域移行が可能(必要)であるかどうか検討することができている。

## 課 題

- ・部員数の減少  
部員が少なく、各学校単独では試合や十分な練習に取り組めない。
- ・部活動指導員との待遇の差  
部活動指導員は、1,600円/h、地域指導員は、1,200円/hとしている。
- ・受益者負担  
国からの委託金が無くなったときに、市の財源のみでどこまで対応できるか検討が必要である。
- ・活動場所の確保と活動場所までの移動方法  
市内4中学校で1クラブとなると、活動場所が限られる。また、長距離の自転車での移動や車での送迎等が必要となり、生徒や保護者の負担が大きくなる。

# 4. 課題解決に向けて、今後の方向性

## 課題解決に向けて

- ・部員数の減少  
⇒市内1クラブで活動する。
- ・部活動指導員との待遇の差  
⇒R7予算要求では、指導者謝金を1,600円/hで要求している。
- ・受益者負担  
⇒実証事業をとおして、必要であるか検討していく。
- ・活動場所の確保と活動場所までの移動方法  
⇒活動場所を各校の中間地点や持ち回りにすることで、不公平感をなくす。  
移動方法については、保護者等の送迎や部員が自転車で行ける場所を活動場所にする。

## 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

小矢部市教育委員会 部活動改革スケジュール(案)

